



『桃の節句』といわれるこの行事は、女の子の成長を祝うお祭りです。もともとは中国で、3月の最初の巳の日に行われていた「上巳(じょうし)の節句」と、日本の人形信仰が結びついたものといわれています。「上巳の節句」とは、川で身を清め、不浄をはらう習慣で、邪気をはらう力があるといわれた『桃花酒』が飲まれました。

外国の人から見てもひな祭りは、本当に美しく楽しい日本の伝統行事です。ひな人形を飾るときの気持ちを忘れず、美しい心を持ち続けたいものです。

引用一年中行事なるほどBOOK一

菱もち

一番上の紅は、「もも」を表し、2番目の白は、「雪」一番下の緑は「草」を表しています。桃が咲き、雪が残っていて、草が生え始める季節を象徴しています。

桃のはな

桃には悪い物を追い払う力があるといわれています。



はまぐり

ひな祭りのご馳走に、はまぐりのお吸い物は欠かせません。はまぐりの上と下二枚の貝殻がぴったり合わさるのは、一組だけなのです。ぴったりの人とめぐり合えますよという思いを込めて食べるのだそうです。



さあ、すいこうに集まろう!

2月に開催いたしました生活発表会には、お父さんお母さんだけでなく、おじいちゃん、おばあちゃんなど多くの方においでいただき、700席ある会場は、満員となり、立って見ていただくにはならないほどでした。子どもたちは、発表会を楽しみにしていたので、嬉しくて嬉しくて、笑顔満開。その笑顔に誘われ、保護者の方も笑顔と拍手とちょっぴり涙もあり、優しさがいっぱい暖かい発表会となりました。年長さんの自信たっぷりの姿に「今度は僕が太鼓をたたく」とか、「サザエさんになりたい」と思い、あこがれた年中さん、年少さんがたくさんいたことでしょう。見学に来ていた姉妹園の職員からも、「一人ひとりが自分の役になりきっていた」とか、「年少・年中・年長と成長していく姿がはっきりと分かった」と褒めていただきました。特に年長さんの堂々とした姿に、「とても集中力があり、年長さんとしての自覚を感じた。」という言葉をお聞きいただき、大変うれしく思いました。年長さんのこの集中力や年長としての自覚は、年長に進級したから身に付いたものではありません。小さい時、特に赤ちゃんの頃から好きなあそびを保育者と一緒に見つけ、繰り返し楽しんできたことや、「あれはなんだろう」と好奇心をくすぐり、「もっと遊びたい」「もっと知りたい」と思えるあそびの環境の中で過ごしてきた結果ではないかと思えます。また、日頃の生活の中では、友だちと喧嘩をしたり、ちょっぴり意地悪なことを言って担任から注意される場面もありますが、発表会に取り組んでいるときは、「昨日よりも大きな声だったよ。」とか「かわいく踊っていたよ。」としっかり褒めてもらい、担任だけではなく、手伝いに来た小さいクラスの保育者からも「笑顔がとってもすてき」などとたくさん認めてもらうなど、小さい時から、園全体でしっかりと関わってきたこと、そして何よりご家庭でしっかり話を聞き、見守っていただいていることで、自己肯定感が育まれてきたのだと感じています。

すいこうは、創立以来45年がたち、老朽化が進んできたので、建て替えをすることとなりました。令和3年2月末に少し早目の卒園式を行い、3月より過ごした口田を離れ、休園となった真亀幼稚園での保育を、およそ9か月間行い、同年12月には、新園舎に帰ってくる予定です。真亀幼稚園で、乳児さんの保育ができるよう沐浴室、調乳室、トイレにシャワー室などを造り、改築をしなくてはなりません。先般行いました説明会では、たくさんの方が来てくださり、「送迎について」とか、「遠くなるので、時間内にお迎えに行かれない」、「今までのような経験ができるのか」などたくさんのご意見を頂き、皆さんの不安がどんなに大きいか、改めて感じました。一つひとつの不安に真摯に向き合い、最善の方法を考えていながら、園舎は変わっても今よりもっと安心していただけるよう、情報を発信してまいります。保育内容に関しても、初めての場所でのどんな保育が展開されるのかとても不安に思っておられるようです。私たちも、多少の戸惑いもあり、想定外のこともあるかと思いますが、子どもたちのよりよい成長を願う気持ち、そのための楽しい保育環境の設定などは、今までと変わらず、保育者間で協力をしながら進めてまいります。お当番活動や縦割り保育など、今まで楽しんできた活動はもちろん継続し、隣の小学校や地域の方々との今までにない関わりなど新しい出会いがあるかもしれません。試行錯誤を繰り返しながら真亀の地でも、子どもたちの笑顔と保護者の皆さんの安心を守っていきたくと考えています。そして、令和3年の冬には、新しく建て替わったすいこうで、今まで以上の楽しい保育を展開していきたく思います。新しいすいこうは、子どもたち、保護者の皆さん、私たち職員、そして地域の皆さんの夢と希望があふれたこども園となり、卒園した子どもたち、保護者の皆さんがワクワクした気持ちで集まってくれる、心地よい場所となるよう努めてまいります。さあ、みんな、すいこうに集まろう!!

園長

年長さんの成長と、新しい出発に心をこめてお祝いしたいと思います。いつもと少し違う雰囲気の中ですが、一人ひとりの思い出になる式になれば何よりです。



子育てメッセージ

人が好き  
あそびが好き  
自分の周りのことがぜんぶ好き  
そんな自分がいちばん好き

「好き」の感情に出会う時が、一番うれしい瞬間だと思います。心がうきうきしているいろんなことに関わりたくなり、人や出来事に関わることから、いろいろな感情や知恵を学びます。子どもに必要なことは、「好き」の感情との出会いです。だから「子育てとは、子どもの好きの世界を広げるお手伝い」とも言えますね。

全国私立保育園連盟  
子育てメッセージ

